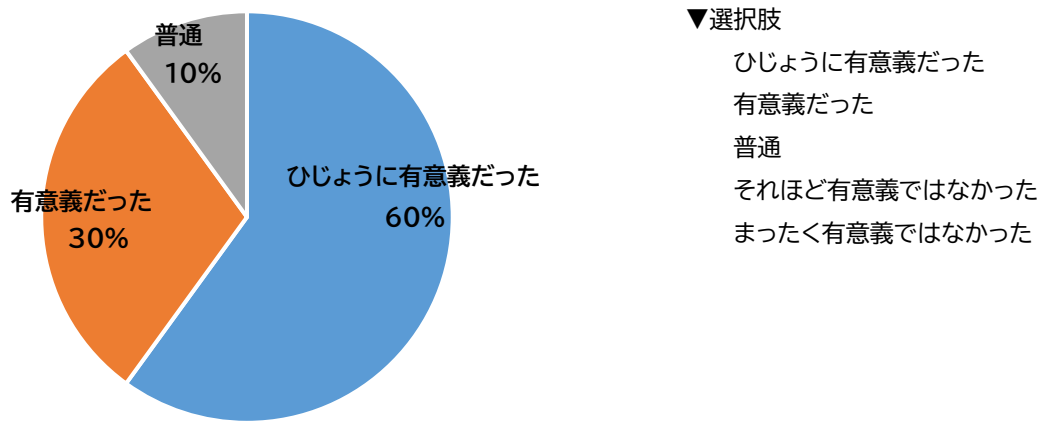


会員活動/CUDミーティング005「企業会員のCUD取組を知ろう！」
アンケート集計報告

実施日：2023年07月23日(日) 14:00～16:00
主催：NPO人にやさしい色づかいをすすめる会
参加人数：17人
アンケート実施期間：2023/07/24～2023/08/06
アンケート回収：10人(回答率 59%)※2023/08/07 集計報告作成

Q1:今回のCUDミーティング「企業会員のCUD取組を知ろう！」はいかがでしたか？
(1つ選択)



Q2:以下3件の報告について、感想や意見等を自由にお書きください。(記述回答)

1. 赤門ウイレックス株式会社(山田晃也氏)
2. Color Charm Y(浅見ゆかり氏)
3. NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構(伊賀公一氏)

●今回のような機会がなければ、なかなか知ることができない活動の詳細を知ることができ、たいへん参考になった。今後、個人会員も含め、それぞれのCUDに対する考えや取組について紹介し合う機会を設けるとよいと感じた。そこから新しい企画のアイデアが生まれそう。

●赤門ウイレックス(株)山田さんの「安全をすべてに優先するためのCUD教育」は、企業へCUD啓発をする際に、有効な事例になると思いました。Color Charm Y 浅見さんの活動を知り、浅見さんのような色彩の専門家がCUDの必要性をレクチャーされる方がもっと増えるとよいと思いました。伊賀さんのお話しは、イベントのテーマに幅が出て面白かった、興味深く聞けました。

●お世話になりました。

企業会員になられているからには、なんらかの CUD 視点があるはずで、どんな小さなことでも示唆になるので有意義でした。

企業会員でなく個人会員でも 20 分くらいなら誰でも語れることがあると思います。

●3人の方、ありがとうございました。

1. 赤門ウイレックス株式会社 山田晃也様

赤いスプレーでのダクトへの指示について、仕事のミスでは済まないことも出てくるのではないかと思える事例でした。その後の社員への学習へと活かされる行動力は素晴らしいですね。

2. Color Charm Y 浅見ゆかり様

UC 級という検定、様々な資格があり組み合わせ等々で面白いことができるのでは？と思える内容で興味深く聞かせていただきました。

3. NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構 伊賀公一様

色覚を捨てた分、空間周波数に強くなるという話が興味深かったのですが、私にはついていけないようです。調べてみます。

●今回、企業会員様の活動を知ることができ、とても感銘を受けるとともに、少しずつ CUD の活動の輪が広がっていることを感じられ、勇気をもらうことができました。

対面での開催で懇親会も非常に楽しく、初めてお会いする会員の方とも交流ができ非常に有意義でした。

1 「安全が最優先」という観点からカラーユニバーサルデザインの必要性に気づいてくれる色弱当事者でない経営者がいるということでは、他の企業やもちろん行政でも、非常に見習うべきことだと感じました。色弱当事者としては、色による識別ができない場面に遭遇した際は、そのことを恐れず発信したり改善策を提案することで、理解者を増やせばと、改めて感じました。

2 まずは、色彩に関するプロの方の仕事について少しでも知ることができ、とても興味深かったです。いつか、パーソナルカラーを診断していただき、買い物同行をしていただきたいな、と思いました。

3 伊賀顧問には、いつもいろいろな情報発信していただき勉強させていただいています。高速道路のゲートの信号の色(ETC 専用:青紫、ETC 現金兼用:緑⇄赤)は、すごく迷うので一度確認いただけるとうれしいです。

●1. ユニバーサルカラーについての必要性を身をもって実感され、実際に改善、取組みが実践でできる企業さんなので、どんどん率先して他の企業にも影響を与えてくださることができる企業さんだと思った。

3. いつもお話が興味深くてわかりやすく勉強になります。

●1 例にあげられた赤いペンキから CUD について関心をもたれたのはよくわかったが、その後の具体的な実践例を知りたかったです。

2 皆さんがファッションで悩まれているのが質疑応答で実感しました。店員さんは買わせる

為に本当のことは言わないというのが、なるほどと思いました。

3 テクスチャの質感把握に優れた能力があるというお話が興味深かったです。

●質疑応答の時間は丁度良いと感じました。

●1. 赤色=危険で危ないという印象そのものがP型にとって危ない気がしますので、その認識から変える必要があるなぁと思いました。

2. 色カルタが面白かったです。多分、色覚異常の人がやると、まったく別の結果になるだろうとも思いました。服やオシャレに関しては、これは僕の感想ですが、色覚異常の人の方が「嫌い」方面のこだわりが多いように感じます。

3. 色弱は空間周波数が高いという、色覚異常の優れている部分をもっと知りたいと思いました。個人的には盲人焼き肉研究会の話が面白かったです。

Q3:今後どのような企画を希望しますか?(たとえば今回のような企業会員の活動紹介の他, CUD 事例を見学するツアー, 講演会, ワークショップその他, ご提案ください)(記述回答)

●当日話題に上った衣料品のショッピングツアーは楽しいイベントになりそうである。色弱当事者の困り事のひとつとしてよく紹介される洋服選び。ひじょうにわかりやすい問題であり、パーソナルカラーの専門家によるアドバイス付きという付加価値があれば、さらに魅力的なイベントになると思う。それが CUD に関心をもってもらう一歩にもなるはず。

●・当会がどんな活動をしたら CUD 普及に繋がるかを考える会

・CUD 普及のために行ってきたこと、これから行いたいと思っていることを発表する会

・当事者や、当事者のご家族の方に語ってもらう会

●色度図と混同色線の理解

グーグルの色補正体験と当事者の率直な意見が云える機会

とことん色弱者が質問するミーティング

(どうしてもC型の人達がわかるころは走ってしまうので、D型のわたしには追いつかない、疑問を持ったまま次に行ってしまう場面があります 今回の安心と優先の色についても理解できませんでした)

●赤門ウイレックス株式会社 山田晃也様のプレゼン資料最終ページの緑と赤のように一つの事例でどのように見えるかというものは、興味深いです。

●・浅見さんのパーソナルカラー診断&ファッションコーディネート企画!

・伊賀さんとの焼肉をおいしく食べる会(レアでも食べられる少し高級な肉になるでしょうか、それとも食べ放題)

●色んな会社や企業様の社長や役員の方や学校関係の教員などに、ユニバーサルカラーについての必要性を実感していただけるような体験型セミナー

- ファッションについてのワークショップは面白そうです。
- 今回発表できなかった内容を聞いてみたいです。
- 知らない事を知れる機会、色を使った遊びなどもやっていきたいです。

以上